

めぐる つながる 「えんがわファンド」



【えんがわファンド詳細 QRコード】

「えんがわファンド」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、申請団体の募集を停止していましたが、受付を再開しました。申請受付期間は、令和2年8月31日(月) 17時までです。調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する「えんがわファンド」をどうぞご利用ください!※申請を検討される団体の方は、必ずえんがわファンド募集要項(改正版)をご覧ください。

えんがわファンドとは…

調布のまちがより豊かになることを目指して、幅広い分野のボランティア・市民活動及び児童や生徒の体験活動を支援することを目的としています。えんがわファンドを通じて、団体同士、あるいは市民活動支援センターと団体の方々が相互に交流し、協力しあう関係構築を目指しています。

市民が支えるえんがわファンド

えんがわファンドは、市民の皆様が市民の団体を支える仕組みです。具体的には、サポーター会費やちようふチャリティワーク参加費、市民・企業・団体の方々からいただいた寄付金、書き損じはがきや使用済み切手等による益金を原資としています。



令和元年度 使用済み切手 カード 外国コイン等 売り上げ報告

使用済み切手	¥57,700
書き損じはがき	¥82,059
使用済みカード	¥100
外国コイン	¥52,410
その他	¥500
合計金額	¥192,769

■サポーター会員になって活動団体を一緒に応援しませんか? サポーターの皆様からいただく会費(1口3,000円)は、市民の想いで市民を支える仕組み「えんがわファンド」の貴重な原資になります! 昨年度は、64の団体・企業の皆様と4名の個人の方がサポーター登録してくださりました。調布のまちがより豊かになることを願って、あなたも一緒に団体を応援しませんか?

■ご自宅にある書き損じはがきや使用済み切手を寄付して団体をサポートすることもできます! 緊急事態宣言下の自粛期間中に、ご自宅を整理していたら使用済み切手や書き損じはがき、旅行先で残った外国コインなどが見つかったという方はありませんか? 実はそうした物も、ご寄付いただくことで、団体を支える貴重な原資に姿を変えます。心当たりのある方はぜひ一度ご自宅をご確認ください!

【えんがわファンド助成団体インタビュー】

今回は過去に助成を受けた3団体の皆さんに以下4つの質問を行いました。

- Q1. えんがわファンドを申請したきっかけと理由は?
- Q2. 活用してみて、助成金以外にも良かったことはありますか?
- Q3. えんがわファンドを通じて、活動の広がりが深まりましたか?
- Q4. センター職員との関わりやはばたきスペースの利用について便利だと感じることはありますか?

申請をお考えの団体さんには参考になる話も多いと思いますので、ぜひご覧ください。

【特定非営利活動法人子どもの未来を紡ぐ会】

子どもたちのキャリア形成を支援することで、貧困の連鎖を断ち切ることを目的に活動する団体です。基礎学力定着のための学習のサポートや将来への希望を育むための心理的サポートを行っています。

- Q1. 市民活動支援センターのはばたきスペースで活動を行って身近な存在であったこと、使途に関する条件が緩やかだったため申請しようと思いました。センター職員から案内していただいたので良かったです。交流会などを通じて他の団体の方と知り合うことができたことが良かったと思います。発声障がいのある子どもの理解と支援の仕方について教えている団体さんの講座に参加させていただき、勉強することができました。
- Q2. 交流会などによって、地域での認知が増し、活動に広がりが出たと思います。
- Q3. 交流会などによって、地域での認知が増し、活動に広がりが出たと思います。
- Q4. 他の団体やボランティア希望の方を積極的に紹介してもらえらるべきでありありがたいです。

【Global 調布!】

グローバル化の時代に調布市民が英語コミュニケーション・スキルと国際感覚を身に着け、地域と世界を結び付けられるようになることを目的に活動しています。東京オリンピック・パラリンピックでも市民によるおもてなしや貢献の機会を設けられるように努めています。

- Q1. 活動を始めた頃に、「市民の活動を支援する素晴らしい仕組みがある」と知り合いに紹介され、活動の広がりに向けて申請しました。このファンドは地元での活動を助成しているため、私たちの活動を評価していただけるのでは期待しました。
- Q2. 市民活動支援センター主催の色々なイベントに参加する機会があり、他の団体の方と知り合い、コラボ活動を行うなど、ネットワークが広がりました。また、えんがわファンドを活用して実施した事業に、英語を話して学べる機会を求めている方や、高い英語力を活用できずいた方たちにもご参加いただけて、私たちの活動の意義をあらためて感じられました。
- Q3. ゲストを招き、英語の公開講演会やワークショップを開催するなど、活動の幅が広がり、関心を持ってくださる市民とつながることができました。その結果、定期活動の「英語カフェ」への参加者が増加しました。また、調布市国際交流協会や社協とのつながりもでき、今後も情報や意見を交換し、協力し合えること実感しています。
- Q4. 職員の方皆さん熱意があり、地域の豊かなネットワークを駆使しながら、イベントの準備などをしてくださることに感謝しています。時々はばたきスペースを利用しますが、市民が使える場があることは素晴らしいと思います。

【手づくり市】

『つくからひろがる』をスローガンに、手作りを通じて人と人との和を広げていきたいと思活動しています。既に手作りを楽しんでいる方や交流の場や、手作りをやってみたいけど技術がないなどお困りの方に情報や活動の場を提供しています。

- Q1. 活動の内容を広げるため、市民活動支援センターへ相談に来た際、職員の方から教えていただきました。えんがわファンドの助成を受けたことで、市民活動団体として認められ、活動場所を貸していただける場所が増えたり、学校や幼稚園、保育園などにもチラシの配布できるようになりました。また、他の団体の方々との交流も刺激になりました。
- Q3. コロナの影響でイベントができなくなったとき、えんがわファンド助成先団体の方が場所を貸してくださり、入園や入学用品で困っている方に協力いただきました。飲食店の方なども興味を持ってくださり、打合せを重ね、交流が深まりました。
- Q4. 活動のこなど、いつも丁寧相談のつてくださり、提案もしていただき、活動が広がりました。引き続き、手作りの市活動や手作りの楽しさを知っていただくために今年も申請したいと考えています。たさんの方とまた交流できることを楽しみにしています。

